

名古屋市立川中小学校の総合的な学習の時間を支援しました



6月7日(火)に、矢田川こどもの水辺で実施された名古屋市立川中小学校の総合的な学習の時間を支援しました。授業では、児童にとって身近な川である矢田川でのガサガサ調査や水生生物の観察、水質調査などの体験を通して河川環境の大切さを学んでもうとともに、実際に水害を体験したことのない世代の児童に、近年の大規模水害や東海豪雨の様子を知ってもらうことで、水防災に対する意識の重要性を伝えました。

環境学習 ～ガサガサ調査～



環境学習 ～水生生物の観察～



環境学習 ～お魚タッチプール～



環境学習 (水質調査:水道水と庄内川の水)



【参加した児童：3年生37人】

★児童の感想

- ・あみを後ろに置いてガサガサしたら魚がとれるワザは最初難しかったけど、教えてもらった通りにやったら1匹とれた。
- ・庄内川の水と水道の水は、見た目ではどちらもきれいだっただ、のぞいてみると庄内川が濁っていることがわかった。
- ・川のことをもっと知りたくなった。
- ・うなぎはゆるゆるで、カメは甲羅がかたかった。
- ・川はあぶないこともあることが分かった。 など



防災教育～近年の大規模水害の説明～



※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用、消毒、検温等の対策を行い、開催しました。